

共産党を含む野党選挙共同の 明確な方針の表明を

国民民主党京都府連会長・衆議院議員 前原誠司様

2019年5月9日

この間、来る参院選京都選挙区をめぐり、共産党を含む野党選挙共同の明確な方針の表明をとお願ひさせていただきました。報道によれば、「国民民主党が新人候補を取り下げ、旧民主党勢力が事実上一本化」が実現したとのことで、国民民主党京都府連の判断・努力に感謝します。

議員は4月28日のツイートで「少なくとも旧民主党勢力が相互互惠の精神で、できる限りの選挙協力を行い、共闘体制を確立する」と表明されます。まさに、この「少なくとも旧民主党勢力」という範囲ではなく、共産党を含む立憲野党という枠に拡大していただくようお願いします。

加えて、小選挙区制・単純中選挙区制の廃止で野党は結集してください。野党選挙共同は死票の多い選挙制度であるゆえに必要なのであって、選挙協力はいつまでもすべきという性格のものではありません。候補者調整の我慢は選挙制度改正が実現するまで、ということではないでしょうか。

戦争大国・核大国である日米英仏の寡頭政治を支えているのが小選挙区制であると思いますが、この観点からしても小選挙区制の廃止は国際政治において極めて重要な課題です。

つながろう！ちば6区市民連合は、17年衆院選の政策協定で、当時の生方幸夫候補予定者と、小選挙区制の廃止で合意しました。こうした合意をぜひ、野党間でお願ひします。

「平和への結集」をめざす市民の風による街頭世論調査（2015年11月1日～2016年2月6日、都内21カ所、回答数1034）によれば、小選挙区制反対は旧民主党支持層の68%、自民党支持層の44%（34%が賛成）にも上っています。従って、小選挙区制廃止は本来的に超党派で実現してしかるべきものです。

また併せて、辺野古新基地建設阻止の座り込みに参加する野党大議員団の派遣を是非とも実現していただくようお願いいたします。これは山城博治氏の痛切な叫びでもあります。

太田光征（所属：「平和への結集」をめざす市民の風）

〒271-0076 千葉県松戸市岩瀬 46-2 さつき荘 201号

Tel:047-360-1470

otasa@nifty.com